

令和2年第11回定例教育委員会会議議事録

会議室304・305

令和2年10月21日(水)

15時30分～16時40分

出席委員

教 育 長

計 田 春 樹

教育長職務代理者

今 村 保 恵

委 員

長谷川 武 司

委 員

高 橋 正 明

委 員

田 原 知 江

事 務 局

部長

木 村 敏 男

次長兼教育振興課長

石 原 洋

学校給食課長

沖 克 哉

学校教育課長

山垣内 理 恵

生涯学習課長

岡 本 克 則

スポーツ振興課長

紙 田 敬 久

文化課課長補佐

時 元 省 二

書記 教育振興課総務企画係長

三 信 裕 司

書記 教育振興課主事

樋 尻 実 優

議	題
三教委議第50号	三原市指定文化財の指定について（公開）
三教委議第51号	今後の三原市歴史民俗資料館のあり方に関する答申について（公開）
三教委報第18号	県費負担教職員の任免及び懲戒その他の進退に係る内申の承認について（非公開）

計田教育長 令和２年第１１回定例教育委員会会議を始める。

本日の議事録署名委員は、長谷川委員と高橋委員にお願いする。

それでは、令和２年第１０回定例教育委員会会議の議事録の朗読を簡潔にお願いする。

書記（令和２年第１０回定例教育委員会会議の議事録を簡潔に朗読）

計田教育長 議事録を承認してよろしいか。

（一同承認）

計田教育長 議事録の承認については、以上である。

計田教育長 それでは、議事に入る。本日の議案・報告事項のうち、「三教委報第１８号」は人事案件であり、公開になじまないため、非公開として審議したいと思う。審議の順については、次第に沿って審議したいと思うが、よろしいか。

（一同承認）

計田教育長 それでは、そのように取り扱う。それでは、「三教委議第５０号」について事務局から説明願いたい。

時元文化課課長補佐 ７ページ三教委議第５０号「三原市指定文化財の指定について」は、令和２年１０月６日付け三原市文化財保護審議会から２件の文化財について、指定をすることが適当であると答申を受けたため、三原市文化財保護条例第３条第１号の規定により、三原市指定文化財に指定するものである。指定物件の内容は、市天然記念物「山姥の手形」、市有形民俗文化財「のぞきからくり」の２件である。

計田教育長 説明を受けた。何か質問や意見はあるか。

長谷川委員 私も現地に赴いたり、あるいは現物を見たりはできていないが、非常に貴重な天然記念物、有形民俗文化財であると認識している。これを広く市民にも周知して、大事に受け継いでもらいたいと思うが、市民への周知方法について教えてもらいたい。

時元文化課課長補佐 「山姥の手形」については、所有者がいるため、指定後協議し、もし良ければ現地での見学会を開催できるかと考えている。「のぞきからくり」については、現在、三原市歴史民俗資料館の２階に展示しているので、ＰＲすることにより、現地でご覧いただきたいと思います。また、当時録音されたテープがあるので、それを聞いてもらいながら、鑑賞いただきたいと思います。

計田教育長 その他、質問や意見はあるか。

（なし）

計田教育長 以上で本件の審議を終わり、採決に移る。「三教委議第５０号」について、原案どおり可決することに異議はないか。

（異議なし）

計田教育長 全員賛成と認める。よって「三教委議第５０号」は原案どおり可決された。

計田教育長 続いて、「三教委議第５１号」について、事務局から説明願いたい。

時元文化課課長補佐 ９ページ三教委議第５１号「今後の三原市歴史民俗資料館のあり方に関する答申について」は、令和２年８月１９日付で三原市教育委員会から諮問し、三原市歴史民俗資料館等運営協議会から答申を受けたものである。内容は、資料の１１

ページからで、まず11-1ページでは、基本目標として、地域の文化と多様な人材を育むまち、施策として、歴史、文化財を活かしたまちづくり、めざす姿として、三原の歴史資源や文化財の保護・継承のもと、魅力と誇りが市内外に発信されていると設定するものである。11-2ページでは、現在三原市にある三原市歴史民俗資料館と久井歴史民俗資料館の現在の状況について、記載しているものである。三原市歴史民俗資料館は、旧耐震構造で、昭和50年の建築であり、かなり古い建物となっている。続いて、11-3ページは、現在資料館で収蔵している資料についてで、考古資料が約8千4百点、有形民俗資料が約1万6千点、古文書・古典籍等が約2万9百点所蔵されている状況である。旧図書館でも、たくさんの古文書・典籍類を保存しており、特にお茶で有名な上田宗箇の上田家が広島藩の家老であったが、その古文書約2千4百点がある。その他古典籍としては、曲直瀬道三という医学者で、織田信長の侍医や毛利元就の病気を治すなど、有名な中世の医者であるが、その方が小早川隆景の侍医であった水野松林軒という方に贈った医学書の古典籍が保存されている。これは、全国でも数点しか残っていない貴重な資料である。11-5ページは、美術・工芸品として所蔵しているものであるが、三原市においては、幸崎町出身の清水南山先生の彫金類、それからご遺族から清水先生のいろいろなスケッチブックなどの関係品を寄贈いただき、そういった資料をたくさん所蔵している。それから、現在の小早川家当主の方から、小早川家関係の甲冑や肖像画など寄贈いただいた資料がある。11-6ページは、この資料館がめざす姿というものを、答申の中でいただいているところである。その三本柱として、「宝みがき」は、現在持っている資料をどのようにきれいに磨き上げて、資料の研究・調査をして、その良さを出していくかということである。当然その中に、歴史資料であるとか文化資料、自然・科学資料も含めている。次に、「人まねき」は、多くの見学者に来ていただくための施策をどうするかということである。「人づくり」は、学校や市民活動団体と連携して、人材育成をしていくというものである。この三本を柱として、歴史と文化が結びつき、みはらの魅力を発信する資料館ということで挙げていただいている。11-7ページは、今後の資料館の取り組みについて内容を詳しく書いているものである。11-12ページは、展示のイメージだが、現在の主要な展示品と今後展示を検討すべきものを比較している。その中で自然史は、現在あまり展示資料はないが、三原に関係するエヒメアヤメやオオサンショウウオ、ヒョウモンモドキなどの自然史系の展示を含めて、こうしてはどうかという資料となっている。それから、このページの中では、今後近世では三原城本丸御殿の模型など、そういった三原城全体が分かるような展示の構成ということで考えていただいている。こういう形で展示のイメージということで内容を検討していただいた。11-13ページは、おわりにということで、やはり貴重な資料を今後次代の方につなげていくためには、今後新しい資料館をどのように考えていくかも踏まえて、次代に係る資料として検討するよう答申をいただいている。

計田教育長 説明を受けた。何か質問や意見はあるか。

高橋委員 めざす姿の「宝みがき」「人まねき」「人づくり」の3点から取組みを進めていくということだが、その中の「人まねき」「人づくり」は、三原市民は、当然対象になると思うが、市外のいろんな方にも、三原市のそういった貴重な資料を見ていただ

くという観点から、そういった外から来た方々が、そういう三原市の貴重なものがどこにあるのかというのが分かるような地図というか、案内のようなものがあれば、そういうものをめざして訪問しやすいのではないかと思います。それからもうひとつの「人づくり」についてだが、せっかくの貴重な資料をいかに利用していくかというところで、学校で例えば、総合学習の時間等にそういったいろいろな観点からの資料を利用しながら、テーマ設定をしながら、学習を深めていくということにも利用できるのではないかと考える。そういう観点からよりいっそう利用して、この価値を知ってもらおうということが大切なのではないかなと思う。

時元文化課課長補佐 施設に来られた方が沢山回っていただくようにということで、情報発信の仕方や、「人づくり」では、総合学習の中に生かしていけないかというご指摘をいただいた。「人まねき」については、まず資料館を見てもらい、模型などで学習をし、デジタル化したものを活用しながら、現地に行ってもらっていただく。つまり資料館については、情報の発信基地の役割になると思うが、資料館にお越しいただいた後、現地に行っていたきたいと考えている。「人づくり」については、総合学習に生かせるようなデータ集というか、デジタル化したものを順次データストックし、活用していただけるよう、学校の先生と連携しながら、資料の蓄積を行っていききたいと考えている。

長谷川委員 今の話にあったように、資料のデジタル化というのは、この答申の中のひとつのキーワードだと考えている。非常に時間もお金もかかると思うが、ぜひやっていかないといけないと認識している。また、めざす姿の実現への取組みというのは、教育活動や人材育成につながっていくと思うので、資料を見ると、年間6千人くらいで来館者が推移していると書いてあるが、それがどんどん学校等も増えて欲しいという願いを持っている。また、展示のイメージでは、当時の暮らしと今の暮らしの結びつきが分かるようになっており、総合学習や理科、社会だけでなく、郷土学習で郷土愛の育みにもつながると思う。

時元文化課課長補佐 資料のデジタル化については、学校の先生と連携しながら、資料の蓄積を行って、学校で活用できるようにしていきたい。また、展示については、黒電話などで時代の流れが分かるような工夫をしたいと考えている。

計田教育長 その他、質問や意見はあるか。

(なし)

計田教育長 以上で本件の審議を終わり、採決に移る。「三教委議第51号」について、原案どおり可決することに異議はないか。

(異議なし)

計田教育長 全員賛成と認める。よって「三教委議第51号」は原案どおり可決された。それでは、ここから非公開にて審議する。傍聴者の方は退席をお願いします。

(非公開案件審議後)

計田教育長 以上で第11回定例教育委員会会議を終了する。

16時40分 教育委員会会議終了

上記のとおり会議の顛末を記載し，その旨相違ないことを証するため，ここに署名する。

署名_____

署名_____